

☘☘ 福祉サービスをご利用の皆様へ ☘☘

宮城県社会福祉協議会・宮城県船形の郷は、福祉サービスを利用している本人や、家族、代理人、職員など関係者からの相談を受付けております。

各部署には「なんでも相談室」を設け、責任者や受付担当者を配置し対応に当たっております。何か困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。

第三者委員 人権擁護委員 大和町吉田 原 弘弥様 (342-2009)
大衡村大瓜 千葉 良紀様 (345-4147)

責任者	受付担当者
所長 青木 強 ☘☘	主幹 小畑 香織 ☘☘

発行元：宮城県社会福祉協議会 宮城県船形の郷まつくらセンター
TEL 022-345-6340 FAX 022-345-5140

見学随時 受付しております！

★勤務時間 9:00～16:00 ★定休日 土曜・日曜・祝日

★TEL 022-345-6340



✧ 仕事内容 ✧

・ランドリー班



洗濯済みの衣類やタオルを仕分けし、船形の郷内の各園に届けます。

・農耕班



野菜を育て、収穫し販売及びスーパー等に納品します。

・清掃班



船形の郷の施設内の清掃業務を行います。

就労継続支援B型 まつくらセンター

広報 まつくら

3号



令和5年度を振り返って
まつくらセンター所長 青木 強
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
令和5年度においてまつくらセンターでは『利用者様のライフステージに応じた福祉サービス等の検討』を重点項目として掲げ、日頃の作業の合間に黒川郡内のB型事業所や生活介護事業所の見学と体験利用の取組みを行ってまいりました。その結果、2月末現在で4人の利用者様が生活介護事業所へと移動されています。
今年度はコロナ感染症と猛暑に振り回された1年で、5月には利用者様のほぼ全員がコロナに感染し、5日間の利用者受入れ中止期間を設けました。その間、残った職員が清掃活動やランドリー活動、そして圃場の管理を行いました。その際にはなでくらセンター職員にランドリー作業を手伝っていただき、大変助かりました。
日頃から利用者様には作業面において大いに活躍頂いていきましたが、コロナによる受け入れ停止期間中は、利用者様の力を思い知らされる良い機会となりました。
コロナが明けて、利用者様が出勤された際、手際よく作業の準備に取り掛かろうとする姿がありました。利用者様がまつくらセンターでの業務に誇りを持ち、心から仕事をした、という表れだと感じました。
まつくらセンターの利用者様はどの方も利用期間が長く、最高齢が八〇歳を超える方もいらっしゃいます。皆様一人一人の働きたいという思いを大切にしつつも、利用者様に相応しいライフステージへの移行を今後も丁寧に進めていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく
お願い申し上げます。



まつくら活動報告



芋煮会



11月

利用者行事として芋煮会を今年も開催しました。会場設営・野菜の収穫・芋煮の調理など各々が得意分野で事前準備に参加しました。当日は天気も良く皆さんお腹いっぱいになるまで芋煮を楽しみました。



新年会

お菓子のつかみ取り



1月

景品の獲得を目指してレクリエーションを楽しんだり、1年間の目標を立て皆さんの前で発表したりしました。日々の作業のリフレッシュもできて有意義な1日を過ごすことが出来ました。

景品ゲット!

輪投げ大会



作業紹介

農耕班



11月には利用者みなさんと協力して玉ねぎを植えました。

秋冬季期間の農耕班は、春野菜の種まきやビニールハウスで育てている野菜の収穫・商品化。また降雪があった際には船形の郷内の除雪作業も行いました。

ビニールハウス内に困っていた大根を出荷の為1本1本丁寧に洗って泥を落としていきます。



敷地内の除雪作業



広大な敷地内の車が通る場所、活動棟の正面玄関や入所園の非常口周辺の除雪作業を行いました。

ランドリー班と清掃班は冬期間でも引き続き作業に取り組んでいます。利用者さんの意見を取り入れメンバーの入れ替えをしながら、日々様々な作業に取り組めるように支援をしています。

清掃班



とがくら園の清掃

ランドリー班



ランドリー作業に加え空いた時間で野菜の納品・販売もしています。